



もっとその先の
新ひだか町に出会う旅。

Nijukken
Road

まちな
ローカルたちが
ご案内！

知って楽しむ

Shinhidaka Town Guide

新ひだか町 観光ガイドブック

2022

Mauta Park

Horse Ranch

Hidaka
Konbu

Camp Site

Shinhidaka Town Information



《バス① 札幌-新ひだか間》
◎都市間バス 高速「えりも号」
◎道南バス 高速「ベガス号」
《バス② 苦小牧-新ひだか間》
◎都市間バス 特急「とまも号」
※いずれも便数が限られておりますので
詳細は各ホームページにてご確認ください

観光情報センター ぽっぽ・旧静内駅



町内の観光情報等をご案内しています。施設内には特産品を取り揃えた売店のほか、バスターミナルやタクシー乗降所、駐車場などがあり、交通の拠点となっています。
〒056-0016 新ひだか町静内本町5丁目1-21
☎0146-42-1000

新ひだか観光協会

新ひだか 観光

検索

《お問い合わせ・発行》

新ひだか町 総務部 まちづくり推進課
〒056-8650 北海道日高郡新ひだか町
静内御幸町3丁目2番50号 (静内庁舎)
☎0146-49-0294 (FAX 0146-43-3900)
発行日 2022年3月



私は2020年からこの桜の維持管理を担当していますが、それまでは学校の公務補（用務員）だったもので、植物に関することは全くの未経験。ですから、枯らしてはいけないと前任者から必死でやるべきことを教わりました。今も毎日が試行錯誤ですが。

大正5年からの歴史を持つこの桜は、多くが50年以上、中には100年以上経つ老木もあります。ですので直径10～20センチの極太の枯れ枝なんてのもさで、安全性や見栄えのためにそれらを取り除く業務があります。木と木の間に狭く、隣の木になるべく傷がつかないように処置するのが大変で、細かく幾度かに分けて切ったりと時間をかけて丁寧に処理をします。時には折れた枝が思わぬ方向に落ちてくるなどの危険も伴います。

なかでも重要なのが、老木が多い中減っていく桜の木を補うように新しく植え育てる業務。若い木には、害虫駆除や施肥が必要ですし、老木は鹿に皮を食べられるとすぐに枯れてしまうため、その手当ても同時に行っていきます。

この仕事をするまでは、これらの桜が毎年綺麗に咲くことは当たり前だと思っていました。でも関わるようになって初めて「そうか。こうやって手をかける人がいて、毎年綺麗に咲いていたんだ」と違う目線で見えるようになりました。と言っても、誰がどう手入れしてるかなんてほとんどの方は興味無いと思いますが、それでいいんです。私もそうでしたから。

ここにある桜はほとんどがエゾヤマザクラですが、中には、ミヤマザクラやカスミザクラなどの少し珍しい桜も混じっています。カスミザクラはその名のとおり、まばらに花をつけ遠くから見ると霞んでいるように見えるのが特徴ですし、ミヤマザクラも、エゾヤマザクラに比べると花も小さくて地味なんです。メインのエゾヤマザクラが終わってから、一番最後に綺麗な白い花を咲かせます。それらを探してみるのもまた楽しみ方のひとつになると思いますよ。

写真のスポットとしては、二十間道路の入り口「エントランス広場」から、道路を挟んだ駐車スペース（石碑が目印）。そこからの景色は、道路のずっと奥まで見通せて一番のお勧めスポットです！

何はともあれ、この桜と馬が同時に見られる素晴らしい「二十間道路桜並木」を思う存分楽しんでください。（放牧されている馬をびっくりさせないようにだけお願いします！）

もし、あなたがまだこの桜並木を見たことがないのなら、最初に見たときにだけ味わえる感動をこれから体験できることがとても羨ましいです。ちなみにあまり知られていませんが、枝に積もった雪が満開の白い桜に見える冬の景色も、春に負けないくらい綺麗ですよ。



新ひだか町 総務部
まちづくり推進課
三橋 一仁さん

樹齢100年を超える桜と
牧場を駆ける馬が織りなす
圧巻の風景に感動。

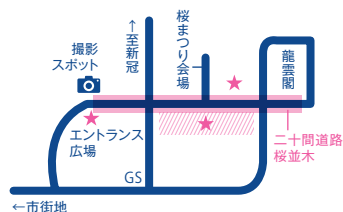
Information

しずない桜まつり

新ひだか町 静内田原～御園



例年4月下旬から5月上旬まで行われ、エントランス広場のほか道路沿線に臨時駐車場（右記★）が設けられ、旧静内駅からは臨時バスが運行されます。





馬トリビア

右回りの競馬場では強いけど、左回りだと勝てない馬もいます。馬にも右利き・左利きと「利き肢（あし）」があります。



馬トリビア

馬の気持ちは耳に現れます。耳があちこちの方向に動くのは、不安を感じて落ち着かない時。何か気になるものや興味がある時は、その方向に両耳がピンと向きます。

馬文化が根付く、
このまちだからこそでできる体験と
感じられる空気。



馬トリビア

馬の種類によって歩き方も違います。サラブレッドは斜めに向かい合った肢が対になって前に進む「斜対歩」であるのに対し、北海道和種馬（どさんこ）は左右それぞれの肢が対になって前に進む「側対歩」です。



見学の可否・見学時間は
競走馬のふるさと案内所にお問い合わせください

- ◎牧場では牧場関係者の指示に従ってください
- ◎牧場内は禁煙です
- ◎厩舎や放牧地に無断で立ち入らないでください
- ◎カメラのフラッシュはご遠慮ください
- ◎大きな音や声を出さないでください
- ◎絶対に食べ物を与えないでください
- ◎危険ですから絶対に馬にさわらないでください

競走馬のふるさと案内所 〒056-0002 新ひだか町静内神森175-2 ☎ 0146-43-2121

毎年大好評の、
ひだかうまキッズ探検隊



町内には、乗馬や馬とのふれあいが楽しめる町有の乗馬施設「ライディングヒルズ静内」があります。自治体が乗馬施設を管理しているのは珍しいと思います。教育を主な目的としています。観光客の方にも楽しんでいただけます。事前にご予約を頂ければ、すぐに馬に乗れる状態でお迎え



住宅街のすぐとなりに
牧場があったりと
日常に「馬」がいます

私

がこのまちにきたのは、たまたま見つけた地域おこし協力隊の募集がきっかけでした。大人になってから乗馬を始めたのですが、当初抱いていた「馬はかわい

い・楽しい」という気持ちから、馬のために何か出来ないか？と考えるようになっていきました。馬好きの中には、私と同じように考える方がおそろしく多いのではないかと思います。最近では引退馬を引き取る方や、ビジネスも含めて馬と様々な関わり方をしている人たちが増えています。地域おこし協力隊の募集をきっかけに「今の自分には、一体何が出来るのか？」と考えた結果、募集項目にあった「馬文化の伝承」に挑戦する決心をしました。

そして、2016年11月、新ひだか町地域おこし協力隊に着任し、町の新たな取組みとして始めたのが「ひだかうまキッズ探検隊」と称した、馬や軽種馬産業について学ぶための子ども向けプログラムでした。町内の小学3年生から6年生を対象で、年10回程度、楽しく探検しています。乗馬施設での馬とのふれあいはじまり、普段は入ることのできない生産牧場で餌作りや馬房清掃体験、装蹄師・獣医師など馬に関わる仕事を間近で見学しました。その他、北海道静内農業高等学校生産科学科に体験入学、門別競馬場で競馬観戦など、馬に関わるたくさんの方々に協力いただきながら活動しています。



個性ゆたかな馬が
待っていますよ！

一般社団法人
umanowa
糸井 いくみさん

オーマイホースパーク
桜舞馬公園に
ボクもいるよ～



二十間道路桜並木の入口にある桜舞馬公園（オーマイホースパーク）には、亡くなった名馬たちの石碑が並んでいます。

かわいい馬の
イラストが目を引く
ラッピングバス！

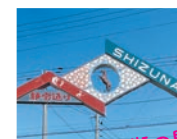


かがでしようか。そして、馬へ興味を持つきっかけになればとても嬉しいです。

Information



ライディングヒルズ静内
〒056-0011 新ひだか町静内真歌7-1
☎ 0146-42-1131
休場日／月曜日
（月曜祝日の場合は翌日）



商店街の門にも
馬のモニュメント！



新ひだかローカル
中村さん

マスターは地域で様々なことに挑戦している人。現在は町内初のワイナリーを造ろうと奮闘しており、そんな姿を見ると自分も頑張ろうと思っちゃうんだよね。

BAR月光
新ひだか町静内本町2丁目2-7
☎0146-43-1030
営業時間 20:00～翌2:00
定休日／日曜日 システム／会員制(※)

※一人でお店を切り盛りする中でも、来店されたお客様みなさんにきちんとおもてなしをするため会員制となっていますが、静内のホテルや飲食店から紹介を受けて頂き、来店時にその旨をお伝えいただければご利用頂けます。

仲買人でもある
板前さん自ら
直接浜で買い付け！

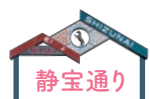


静宝通り

新ひだか町で捕れる
地場の新鮮魚介を
心ゆくまで堪能



すし居酒屋 喜輪(きりん)
新ひだか町静内本町1丁目2-22
☎0146-49-0205
営業時間 17:00～22:30 定休日／日曜日

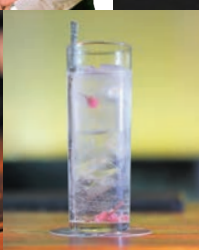


静宝通り

マスターのおもてなしを
じっくり受けながら
旅の思い出に浸るひととき

店名の由来になったとある出来事(来店したらぜひ直接マスターから聞いてみて!)に感動したマスターの石黒さんが自身もお客様に感動が与えられるようにとオープンさせた新ひだか町唯一のオーセンティックバー。馬の絵画が飾られた静かな店内で、優しいマスターがつくるオリジナルカクテルやおすすめのワインをじっくり味わいながら旅の出来事に思いを馳せるのはいかがでしょうか。

Original
Cocktail



静内の桜の塩漬けが添えられ、三石昆布がマドラー代わりの「日高トニック」(写真右)と桜のリキュールをつかった「サクラムーン」(写真左)は、月光オリジナル。



新ひだかで育てられた豚を使用。塩加減抑えて、肉の旨味を感じられる自家製生ハム。

小さな田舎まちとしては飲食店のバリエーションも多いですから、通りを行ったり来たりしながら、充実した飲み方ができると思いますよ。

BAR月光店主／
石黒 健治さん



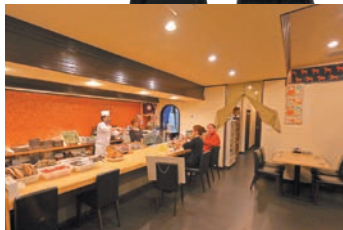
子どものころから馴染みの赤ひげ。先代のマスターは気さくでおちゃめな方で、お店の営業終了後には向かいのスナックへ飲みに来て行ってくれたのが忘れられない思い出ですね。

新ひだかローカル
田中さん

喜輪に来たら、心と胃袋が充実感でいっぱいになる～!

新ひだかローカル
鶴さん

特別な日のお食事にも
ピッタリのお店です!



地産地消のお店として、新ひだか町で捕れた魚介をメインに北海道内の新鮮で種類豊富な食材が堪能できます。お寿司やお刺身はもちろんのこと、煮魚やフライなどどれも絶品。素材に応じて厚めに切られたお刺身は、ボリューム感も楽しんでほしいという板前さんのこだわり。

「ここに来たみんなが美味しい食事をして輪となってつながるように」という想いからこの店名がつけられましたが、このまちはまさにそれが体感できるまち。美食と新しい出会いで人と人の輪が繋がるんです。

喜輪板前／
高木 明さん



日本酒に日高産昆布と飽和塩を溶け込ませた、オリジナルうま味調味料「飽和塩酒」。



とんかつを特製ダレで食べる「赤ひげ定食」も最高なんだよね～!



新ひだかローカル
江刺家さん

新ひだかローカル
門脇さん



看板メニュー
鶏の半身の炭火焼きと
みそ焼きおにぎり

ピアレストラン 赤ひげ
新ひだか町静内吉野町2丁目2-39
☎0146-43-3773
営業時間 昼／11:30～14:30 夜／17:00～22:30
定休日／水曜日

文化通り

昭和の雰囲気そのままに
秘伝の調味料と肉料理が
自慢の食堂居酒屋へ

昭和40年代に開店して以来、世代を超えて地元民に愛され続ける「赤ひげ」は、昔ながらの土間と温かなランプの光に照らされた店内が特徴的なお店。とんかつをはじめとする絶品肉料理が、訪れる人を虜にしています。

「馬」という共通点があったりで、初めて会った人同士でもスグに仲良くなれちゃうところがここで飲む良さだよ!

赤ひげ板長／
小林 憲夫さん

夜の飲食店街

通りを行ったり来たり
他では出会えない
店と人と時を楽しむ。



ローカルが通う、あの店この店
食べ飲み歩き



飲食店は100店舗以上!

ほんの一部ですが、ご紹介します!



ケビンは6棟あります



美肌効果のある
炭酸水素塩泉



緑のふるさと 温泉の森キャンプ場
〒059-2562 新ひだか町静内浦和(静内温泉奥)
営業期間 4月下旬~10月31日

広いフリーサイトが自慢のキャンプ場でファミリーにもソロキャンパーにもおすすめ。桜やツツジなど季節によって違った景色を楽しむことができます。受付でもある静内温泉までは徒歩6分。家族風呂やお食事処もあり、ゆったりと過ごせます。

Information

静内温泉(キャンプ場受付)
〒059-2562 新ひだか町静内浦和106
☎0146-44-2111

Shizunai area

山でのキャンプが
好きな方は
「温泉の森キャンプ場」へ!



太平洋の波の音をBGMに
カラフルなバンガローやオートサイトで
海辺のキャンプを満喫!



静内市街地から
キャンプ場までの
食材調達

ドライブコース!

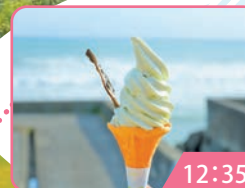
12:00
静内出発

地元の食材は
国道沿いのお店で
ゲットするのがオススメ!



新ひだか町 総務部
まちづくり推進課
門脇 ひかりさん

B
BQの前に
小腹を満たす!



12:35

みついし昆布(株)

おみやげ用の昆布商品が揃うほか、ココでしか食べられない塩気が効いた昆布ソフトが大人気!
☎0146-33-2006



12:25

(有)磯貝嘉市商店

昆布漁師の店。新商品「あらいそまる」が人気!事前予約があればホカホカの豚まんが食べられます。
☎0146-33-2418



12:50

ふゆさわ精肉店

みついし牛はもちろん、焼き鳥やみついし牛入りコロッケが人気です。
☎0146-33-2515



13:05

山崎水産 仁一郎商店

旬の魚介類を取り揃えており、お刺身はもちろん、BBQに最適な手作りの干物や西京味噌漬けもあります。
☎0146-49-0870

新鮮な魚、貝類
何でもあるよ!

Information

道の駅 みついし(キャンプ場受付)

〒059-3233 新ひだか町三石舞161-2
☎0146-34-2333 キャンプ場営業期間 4月下旬~9月30日



国道沿いの三石海浜公園内にあり、オートキャンプ場の受付ができます。周辺には特産品販売センターや温泉などがあり、トイレは24時間利用可能です。道の駅の裏にある丘は夕日の絶景ポイント!夜には満天の星が広がります。

13時30分からは
道の駅みついしで!

13:25
キャンプ場
到着



ふるさと
納税
返礼品

こぶ黒ハンバーグ

日高昆布を食べて育った黒毛和牛100%の安心・安全でおいしい無添加ハンバーグ。

☎ 0146-37-1129 / 焼まつもと牧場



ママの手作り まぜて満点

天然ミネラル・カルシウムがたっぷりの佃煮と無添加のタレでつくる、栄養満点のふりかけです。

☎ 0146-33-2006
／みついし昆布株式会社



ふるさと
納税
返礼品

日高昆布ふりかけ 海味セット

ごはんやサラダ、パスタなど、さまざまな料理をおいしくする昆布ふりかけセットです。

☎ 0146-49-0509
／NPO法人静内耕生舎



ふるさと
納税
返礼品

三石昆布もなか

丁寧に練り込んだ餡と短冊切りにした昆布の食感が味わえる全国菓子博覧会 金賞の銘菓。

☎ 0146-33-2435 / 松屋菓子舗



ふるさと
納税
返礼品

Information

新ひだか町 ふるさと納税

新ひだか町では、全国各地の方々から寄附金という形でのご支援をいただきながら、多様な人々の参加による個性豊かなふるさとづくりを進めるとともに、町の存在や魅力を多くの方々に知っていただきたいと考えております。新ひだか町にご縁のある方、新ひだか町に興味を持ってくださる方など、全国各地の多くの方々からのご支援を心からお待ちしております。

くわしくは
新ひだか町HPより
ご確認ください



日高昆布 万能ドレッシング

化学調味料無添加。昆布のうま味を十分に感じられる心も体も喜ぶ万能ドレッシングです。

☎ 0146-33-2006
／みついし昆布株式会社



だし醤油の素

日高昆布と燻した鮭節、乾燥椎茸を使用。醤油を加えるだけで風味豊かなだし醤油の完成!

☎ 0146-43-1871
／ワークセンターみのり

三石昆布羊羹

上質な小豆餡と日高産昆布が練りこまれた羊羹。上品な甘さとほのかな磯の香りが楽しめます。

☎ 0146-33-2007 / 大野菓子舗



ふるさと
納税
返礼品

あらいそまる

道産豚肉と日高産きざみ昆布がたっぷり入った豚まん。大人も子どもも夢になるおいしさです。

☎ 0146-33-2418
／南磯貝嘉市商店



昆布ソフトクリーム

ほんのり香る昆布の風味とアイスの甘さが絶妙にマッチ! スプーン代わりの焼き昆布つき。

☎ 0146-33-2006
／みついし昆布株式会社



地元民にも大人気の
ソフトクリーム!

ふるさと
納税
返礼品



日高昆布ねりこみ蕎麦 日高の風セット(蕎麦・つゆ)

およそ2年の構想を経て作られたこだわりの昆布蕎麦。食べると日高の風を感じられるかも!

☎ 0146-42-7545 / あま屋

三石こんぶ焼酎

飲んだあと口の中に昆布の香りが広がる、まろやかな味わいで飲みやすいと評判の焼酎。

☎ 0146-32-3101
／三石こんぶ焼酎振興会



ふるさと
納税
返礼品

ウニも日高昆布を食べて
大きくなっているんだよ!



新ひだか町
サボト大使
こぶねちゃん



こんぶでしよ

(焼きこんぶ塩・一味唐辛子・七味唐辛子)

良質な肉厚の日高昆布を一枚一枚天日干して乾燥させ加工。どんな料理にも合う調味料です。

☎ 0146-33-2418 / 南磯貝嘉市商店

春ウニ玉手箱(春限定)

日高の春ウニと海鮮が贅沢にのった丼に、ウニを溶いた醤油をかけていただく極上の逸品。

☎ 0146-42-7545 / あま屋



「採り昆布漁」は、7月上旬から9月下旬にかけて行われ、各浜にはその日に漁を行うかどうかを判断する「旗持ち」という役目があり、夜明け前から日和見をして、海が穏やかで午後まで天気が良い日に旗を掲げ、この旗を合図に「斉に漁が始まります。水揚げした昆布は、玉砂利が敷き詰められた干場に、陸で待機する「おかまわりさん」が素早く並べ、その日のうちに天日干して乾燥させます。

干しあがった昆布は、昆布小屋(倉庫)で保管された後、3尺5寸(105センチメートル)の長さで切り揃えられ、光沢・幅重さ・傷などを見極め、二等から五等に分けられ、その後、格付員による品質等級の検査を経て、全国へ出荷されて行きます。なお、「日高昆布(三石昆布)」の名前は製品として出荷された時の名前で、海の中の生き物としては、「ミツイシコンブ」(標準和名)と表記されます。



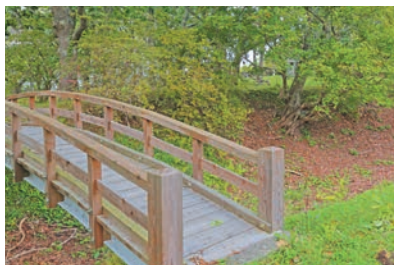
新ひだか町サボト大使
こんぶマン

200年以上受け継がれてきた
天日干し日高昆布は
まさに浜の宝です!



博物館職員による

真歌公園のたのしみ方



シベチャリチャシ跡の 空壕を渡る

「チャシ」とは砦、館、柵囲いを意味するアイヌ語。空壕は上幅約10m、深さ約1.5m、長さ約50mの、外部と遮断する戦闘用の砦のひとつです。元は2本でしたがシャクシャインの戦い(1669)より前に1本に改修されたことが発掘調査で明らかとなりました。

甘酸っぱい！
ハマンナの実
はビタミンCが豊富で

新ひだか町博物館
主事
田中 康平さん

「真歌」の名前の 由来を知る

「ハマンナ」は北海道の海岸の砂地に自生しているバラ科の落葉低木。別名「ローズヒップ」と言われています。ハマンナの実をアイヌ語で「マウ」と言い、真歌(マウタ)はアイヌ語で「ハマンナの実を採る」という意味。アイヌの人々はこの赤いハマンナの実を貴重な栄養源として食べていました。



新ひだか町 アイヌ民俗資料館で くわしく学ぶ

静内地方のアイヌの人々が日常生活に用いた民具など100種類以上を展示。儀式に使われたという世界に3つしかないエゾオオカミの頭蓋骨が見られます。



〒056-0011 新ひだか町静内真歌7-1
☎0146-43-3094
入館無料 営業時間 9:00~17:00
休館 / 月曜・祝日の翌日、12月1日~4月30日

公園内には、
平和を願う拝礼の姿で
シャクシャイン像が立っています



青を楽しんでいます。

多くは16世紀から18世紀の間に築かれました。史跡シベチャリチャシ跡には「真歌公園展望台」があり、そこからは太平洋や日高山脈を見渡すことができます。展望台に立つと、シャクシャインが静内川下流のアイヌ集落が静内川上流のアイヌ集落や、太平洋の彼方「和人地」の松前藩と対峙してきたのは、眺望絶佳の丘上に拠点を築いたからなのだと得心がいきます。また、季節や天候の違いで、太平洋や静内川の色が単に青いわけではないことにハッとさせられます。うすい青緑、緑みのうすい青緑の鮮やかな青、鮮やかな青、さえた青紫、まさに色々です。シャクシャインが見た青はどんな色調だったのか。対立関係にあったアイヌ集落を打ち負かした時に見た青、現・長万部町侵攻の時に見た青、和睦のためチャシを離れる時に見た青。私は到底わかりはしない、シャクシャインの心の内を推し量りながら太平洋と静内川が見せる表情豊かな青を楽しんでいます。

真歌公園

時を超え、今もなおそこにあるのは
アイヌ集団の首長、
シャクシャインが見た「青」。



太平洋

静内市街地

至三石

静内川

新ひだか町博物館
館長
斉藤 大朋さん

静内市街地が一望できる 真歌公園展望台



Information

真歌公園(真歌公園展望台)
新ひだか町静内真歌

新 ひだか町は松前藩の収奪に抵抗して起きた近世最大のアイヌ蜂起「シャクシャインの戦い」の主要地です。シャクシャイン(？1669)は静内川下流のアイヌ集団の首長であり、政治的判断力のある老練な指導者でした。シャクシャインの戦い(1669)は静内川での漁獵をめぐる上流と下流のアイヌ集団間の争いが、和人や松前藩に対する蜂起へと発展したもので、背景には交易における不平等交換の押しつけや漁業権の侵害など、アイヌに対する和人や松前藩の横暴がありました。シャクシャインの呼びかけにこたえて、東は白糠町、西は増毛町に至るアイヌ約2千人が蜂起し、300人以上ともいわれる数の和人が襲撃されました。アイヌ勢は長万部町まで迫りましたが松前藩の反撃にあい後退し、戦いは新冠町での和睦の席で、シャクシャインが松前藩に謀殺され、そして、シャクシャインの首も焼き払われて、終息しました。真歌公園内にはシャクシャインが拠ったと考えられるチャシ跡があり、それは「シベチャリチャシ跡」の名称で国の史跡に指定されています。チャシとは砦、館、柵囲いを意味するアイヌ語です。チャシ跡とは空壕と柵列をもって外部と遮断する戦闘用の砦としての要素を持つ遺跡で、その

東京
から移住

東京から移住

か、ふとオランダ旅行で見たチューリップの圧倒的な美しさ
に感動したことが頭をよぎり、花に関わる仕事をしたいた
と思いはじめます。「今思うと楽器の仕事でも、製造に関わ
っていたときに一番楽しかったんですよ。なので花に携わる
仕事の中でもつくる仕事をしたいたと考えました」そうと決
まれば「フットワークの軽い地原さん。さっそく東京で開催
されていた農業フェアに参加すると、担当者から新ひだか
町を紹介され、あつという間に体験実習までこぎつけます。
そうして初めて訪れた新ひだか町で地原さんが目にしたの
は、当たり前のように馬がいる景色でした。「宿泊施設は馬
牧場に併設されたトレーラーハウスだったんです。とても
快適で、新ひだからしさを満喫できましたよ」

1 週間の体験実習を終えて「やれそう!」と感じた地原さんは2年間の研修へと進みます。研修の1年目は他のパートさんに混じって各花の定植や、葉っぱとり、採花など日常的な作業を教わります。春は定植、夏は採花と秋の採花に向けて畝(苗を植えるためのベッド)を作り、そして秋の採花が終わると、冬の間、次の作付けの準備として土の中に残った花の根を取り除き、必要な肥料を追加して消毒するのが1年の流れです。2年目は機械を触ったり、トラクターに乗ったり、水やりのために灌水用チューブを配置するなどパートさんのやらないことを学びながら、信頼できる指導員さんのもとでわきあいあいとした雰囲気の中で研修が進んでいきました。2年間の農業実験センターでの研修中は、月額8万5千円の研修費＋農業次世代人材投資資金(年間150万円)で、最大月21万円が支給され、無料の住宅も用意されるので安心です。独立就農にかかる費用については地原さん曰く「畑の規模や単身か夫婦などの状況にもよりますが、私は約400〜500万円くらいです。スタートできました」とのこと。現在、地原さんは約70坪のハウスを5棟、露地を50坪、合計約400坪の畑を借りて、1アールの多いデルフィニウム、アスター、スターチスの3種類

沖縄
から移住

沖縄
から移住

広島県出身の岡田幸恵（おかだゆき）さんと北海道美幌町生まれの盛子（せいこ）さんは沖縄県西表島の農園で出会い、結婚。娘さんを授かった際、盛子さんが里帰り出産を希望し、美幌町からほど近い置戸町に移転しますが、かねてから興味のあつた農業のできる場所を探していたところインターネットで新ひだか町を発見します。

「新ひだか町役場に電話すると説明会があると言われ、置戸から遠かつたのですが参加したんです。結果、そのまま面接して帰る時には来ればいいよ」ということになりました」と幸恵さん。住まいも紹介してもらい、とんとん拍子で新天地が決まります。盛子さんは「あまりにスムーズで、背中を押された感じ。どんな未来があるのかなという気持ちでした」と振り返ります。

まちは挙げて新規就農者を迎え入れている新ひだか町では町・JA関係機関でつくる「農業担い手育成支援協議会」が2012年に発足。経営が安定しやすいミニトマト、花きと牛のいずれかを選んで頂き、新規就農する人をサポートしています。岡田さん夫婦はその3期生。幸恵さんは町内での新規就農の実績が少なかったため、研修後にちゃんと独立できるのか不安でした。借金までして大丈夫かなと。でも新規就農はどこかで腹をくくらないとできませんし、決断すればまだ挑戦できる40代という年齢も一つの後押しになりました」と打ち明けます。

研修1年目はミートマトのベテラン農家さんの畑に通い一緒にさまざまな野菜を育て、2年目は町有の「ハウス団地」で指導者の農家さんのアドバイスを受けながらミートマトを出荷することができました。同時に独立に向けて岡田さんご夫婦の場合は研修1年目の後半に、J Aからの資金案の提示を受け、返済プランを練りました。「見たこともないような金額でビビりました。自分が借りたのは2千万円はいいかないくらい。農地やハウスの規模などにもよりますが、無借金の人もしれば家一軒建つほど借りの人もいます」と幸恵さん。そうしてしばらく農園近くの家を借りながら農業に動んでいた岡田さんご夫婦でしたが、娘さんの小学校入学と同時に市街地の中古住宅を購入します。「農地と家セットで手に入れる農家さん多いです、子どもの教



新ひだか町
滞在・移住ナビ

新ひだか 移住

／新ひだか町での生活費まるわかり！／

移住生活費 シミュレーション



移住に関すること
お気軽にお問い合わせください

☎ 0146-49-0294

新ひだか町 総務部 まちづくり推進課
地域活性化・観光グループ

「いいまちだな」と思ったら
いっそ住んでみませんか！

新ひだか
移住
Story



花き農家 地原有紀さん

楽器業界から農家へ転身！
女性一人でも
チャレンジしやすい花き農業

を中心に育てています。「実験センター」や農協の方が探してくれて、土地を借りることができました。ハウスや花の冷蔵庫も安く譲ってもらったり、必要な機械や道具なども頂いたりと、まわりの方がとても良くしてくれたおかげであります。また、お金をかけずに始められて、苦労は何もありませんでした」

地原さんの二日の流れを聞いてみると「ハウスに出勤する時間は特に決めていません。好きな音楽を聴きながら花の手入れなどの作業をして、昼食を食べて、午後はまた作業をして、適当なところで区切りをつけて帰宅。あとはYouTubeを見たりしてゆっくり過ごします。夏のハウスの暑さも東京に比べたら全然平気だし、服装も自由だし、時間の自由も利きます」と、もちろん忙しい時期もあるはずですが、自由度はかなり高い様子。さらに「この仕事は人手がかからないのが最大のメリットで、その気になれば女性一人でもできますよ」と地原さんが言うように、やる気とある程度の初期費用があれば、チャレンジしやすいのが花き農業のようです。全国的に需要がある北海道の花。最近では個人客に定額で定期的に花を届ける「サブスク」の流行もあり、一定のニーズがあるのだとか。また、品種がたくさんある花は市場のニーズが下がっても別の品種への切り替えがしやすいというメリットもあるそうです。

地原さんに新ひだか町の印象についても聞いてみると、新ひだか町だからできないことも、手に入らないものもほとんどとんどありませんし、人も東京とかわりませんよ」とのこと。これからやってみたいいろを尋ねると「たくさん花をつくってそれをゲリラ的にいろんなところに送りつけてみたい！」（笑）そうしてお花好きが増えて、市場規模が大きくなって、お花のニーズが増えたら楽しいですね」と冗談のように話してくれましたが、地原さんなら本当に叶えてしまいそうです。なんとも飄々として、気負いや力みが無いのにとってもたくましい地原さん。これからこの町で綺麗な花を咲かせ続けるのでしょう。

WEBメディア「くらしごと」で
地原さんの
詳しいお話を配信中です



育のために市街地にアパートを借りて車で農園に通う方もいます。通いも選択肢に入れるとエリアが広がるので、自分たちに合う物件が見つかるはずですよ」と盛子さん。住まいを見つけるポイントも教えてくれました。

岡田さんご夫婦が手掛けるのは、新ひだか町が力をいれるブランド「ミトマト」「太陽の瞳」。道内外で評価が高いうえに、販売先は全て「A」しずないと、売り先がしっかり確立されているため、安心して取り組めます。一気に植える作業が増えることから、5月から3回に分けて定植している岡田さんご夫婦の繁忙のピークは9月半ば。パートさんの力も借りながらの、番の勝負どころですが、それを過ぎても出荷作業は11月まで続き、冬には「馬糞」を使いたい肥つくりが始まるんだそう。馬産地である新ひだか町らしい自然の循環ですね。独立した農家さんは、仕事のスタイルも自分次第。コストを考えて収穫期を極力長くし、パートさんの管理や、他産地の動き、需給推移もチェックしたりと、経営者として作物以外のことも見なくてはなりません。また、一年のほとんどは夫婦二人きりの職場ですが、盛子さん曰く「ずっと夫婦対で作業しているというのあります。すると「ケンカなんかして場合じゃない」ってなりまます（笑）」とのこと。とまさに「ミトマト」が「すがすがしい」なんです。

町の新規就農支援制度も10年を超えてすっかり定着し、新規就農者に土地を貸してもいいという人が増えました。仕事の忙しさは相変わらずのお二人ですが、「これからやりたいこと」への思いも少しずつ膨らませている盛子さんは「大好きな藍をもっと植えて、藍染めをしたいと思っています。すしし、かいて嗜んでいたチエロの演奏欲も高まっています。しんどい時があっても、『楽しみがあるぞ』と思いつせますから目標をつくるのはいいですね」とますますエネルギッシュです。こうして絶妙なバランスの暮らしを新ひだか町で手に入れた岡田さんご夫婦。今日も新ひだか町でミトマトと家族、そして未来に愛情を注ぎながら大切に育てているのでしょ。

WEBメディア「くらしごと」で岡田さんご夫婦の詳しいお話を配信中です

